

1. 実施機関名

国立大学法人琉球大学

2. 企画名

津梁と創造の科学人材育成プログラム

3. 総合評価コメント

特筆すべき取組状況であり、企画の目標を上回る成果が得られたと評価する。

育成プログラムに関して、第一段階で基礎プログラムと応用プログラムを設け、多様で高度な充実した講義や演習を提供している。特に、応用プログラムにおいては、「琉球」を切り口に海洋科学系、亜熱帯生物系、島嶼産業系など、地域特性を生かした特色ある講座を設けている。また、第二段階の初期に沖縄科学技術シンポジウム（OASES）での成果発表を目標とするなど、多くの成果創出につなげている。研究計画書や研究ノート、受講生カルテ、一枚ポートフォリオ等を活用しながら、受講生個々の伸長過程の評価を丁寧に実施している点も良い。科学教育支援事業専門委員会や小中高校生に対する科学教育の支援を行う専門委員会を設置するなど、本企画に関連して学内体制の整備やジュニアドクター育成塾との連携も進んでいる。

一方、受講生の募集について、2年度目以外は目標を下回っている。県外を含めた応募者を増やすため、ITの更なる活用と積極的な広報活動を引き続き推進していただきたい。また、受講生の研究活動において、沖縄美ら海水族館や沖縄科学技術大学院大学をはじめとする外部機関からの更なる支援が望まれる。

今後、自らが掲げるビジョンとロードマップに基づき、外部機関等との更なる連携強化、活動資金の獲得について地域を挙げて進め、次世代人材育成事業のロールモデルとなり得る魅力的な事業へと発展することを大いに期待する。